

パス適用率向上への取り組みについて

島根県立中央病院 医療情報管理科
診療情報管理士 昌子実加

クリニカルパスとは

患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む
標準診療計画であり、標準からの偏位を分析すること
で医療の質を改善する手法

日本クリニカルパス学会 定義

クリニカルパス の目的

島根県立中央病院
クリニカルパス運用要項

医療の標準化、質の向上

医療プロセスの効率化

チーム医療の推進

インフォームド・コンセントの推進

病院経営支援への活用

情報の共有化

クリニカルパスには
多様な効果がある

効果を得るためには
適用率を上げることが重要！

パス適用率 (2018年度)

全国平均

41.6%

クリニカルパス学会アンケート第18回結果

当院

35.4%

全国平均を
大きく下回っている



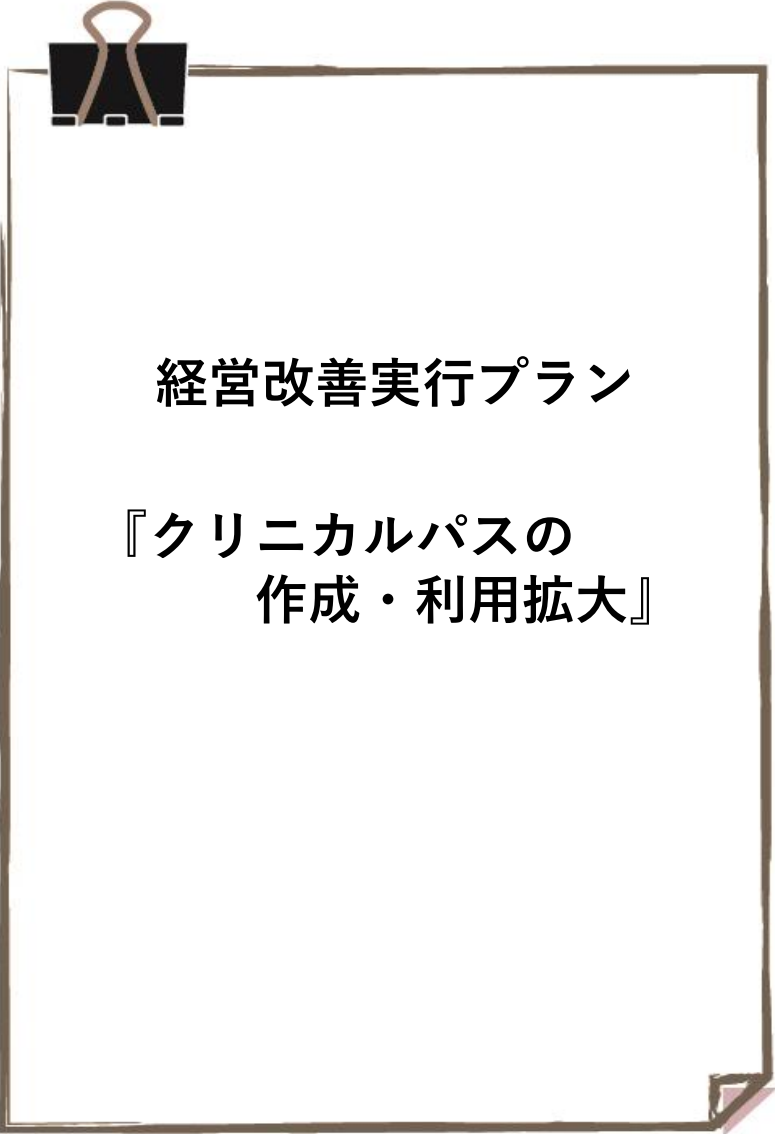
救急入院患者が多い

事前にパスの適用を考慮する余裕がない



電子カルテ＝自己開発型

パス作成に時間がかかる

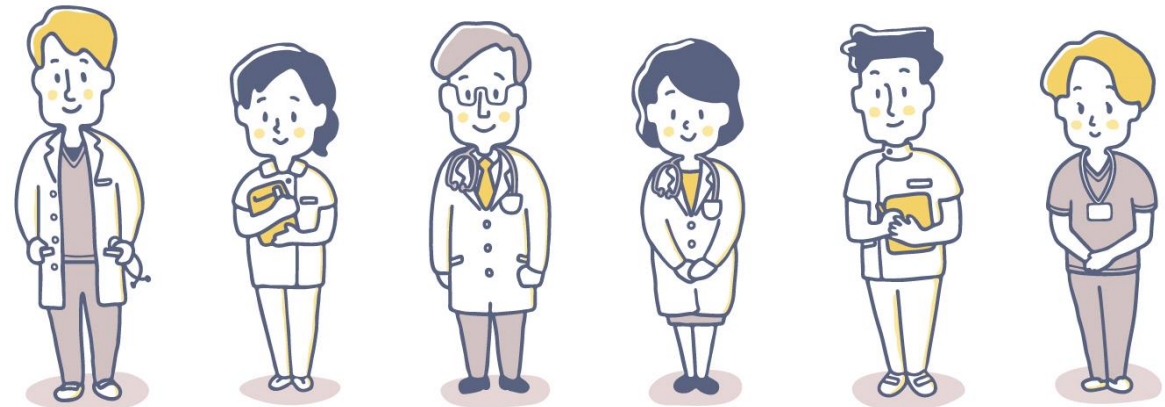


経営改善実行プラン

『クリニカルパスの
作成・利用拡大』

病院全体の課題として取り組みを開始

目標 適用率 **50%**



取り組み内容

体制整備

～2018年度

2019年度～



担当部署（委員会事務局）

委託企業 1名

直営化

診療情報管理士2名



委員会事務作業

クリニカルパス委員長 医師

委員会事務局



パス作成・修正権限

医師限定

多職種へ拡大

薬剤師・管理栄養士
理学療法士
診療情報管理士

体制整備

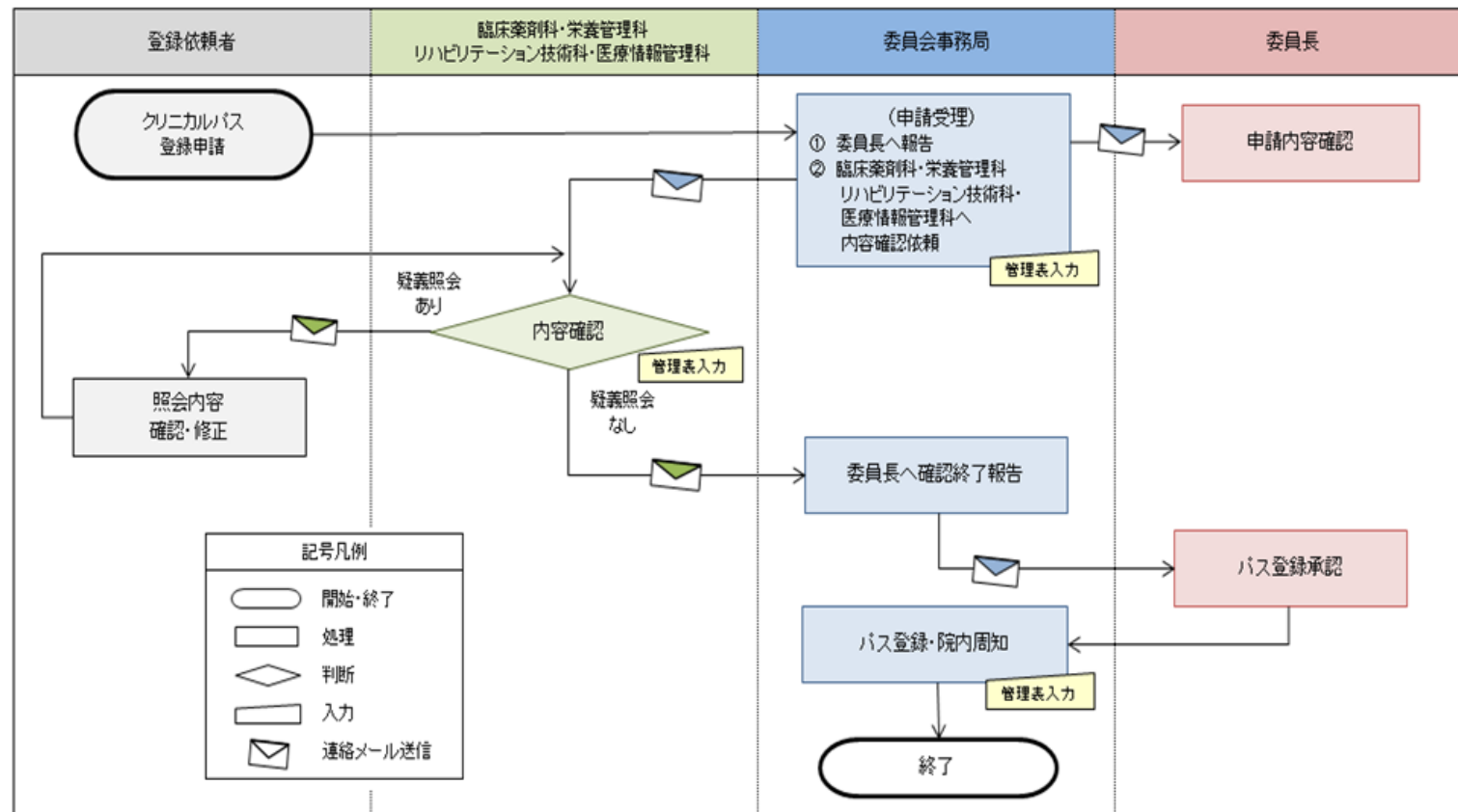
運用要項の改訂

フロー図の作成

- ・運用を明確にすることで
パス活動の活発化を期待

進捗管理表の導入

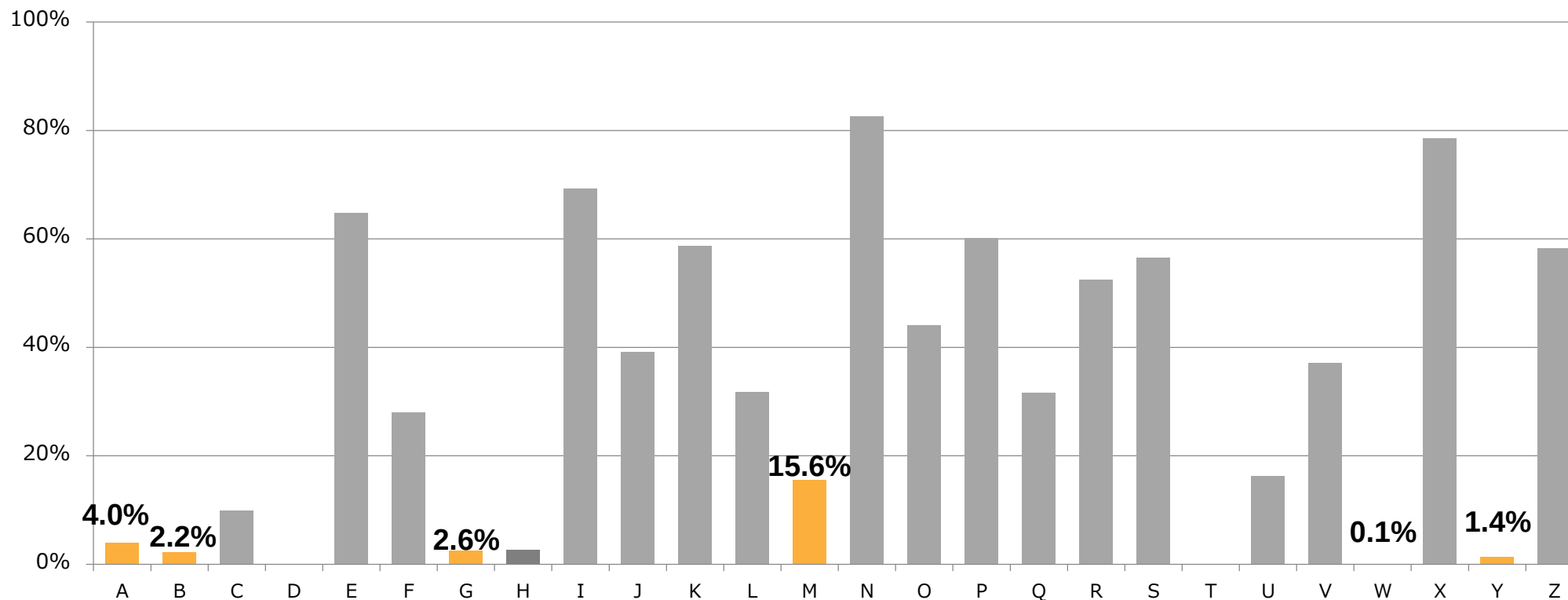
- ・作業中のパスが一目で分かる
- ・多職種の介入により進捗不明にならないように工夫



パス登録フロー図

新規パスの作成

診療科別パス適用率（2018年3月～2019年4月）



入院患者が多く適用率が低い6診療科へアプローチ開始！

新規パスの作成

新規パスの提案



診療科ごとに適用DPC上位5位までを抽出

パスの有無を調査

各診療科へ提示しパス作成の検討を依頼

作成支援

パス作成会議を開催

(担当診療科医師・看護師・パス委員長・委員会事務局)

- ・ DPC第II日を基準に期間を検討
- ・ DPC分析ソフトで診療実績等のデータを
確認しながら内容を協議
- ・ 代行入力を活用

作成完了
まで
サポート

院内共通パスの作成



クリニカルパス選択画面

探しやすい

使いやすい

2019年

- ・急性肺炎
- ・急性腎盂腎炎
- ・誤嚥性肺炎
- ・CVポート造設

2020年

- ・めまい

2021年

- ・アナフィラキシー
- ・COVID-19
- ・Tb疑い3連痰
- ・誤嚥性肺炎（中等・重症用）



パス分析報告書の提供

● 設定期間

第Ⅱ日との乖離、入院期間の分布を確認

● 他院とのコスト比較

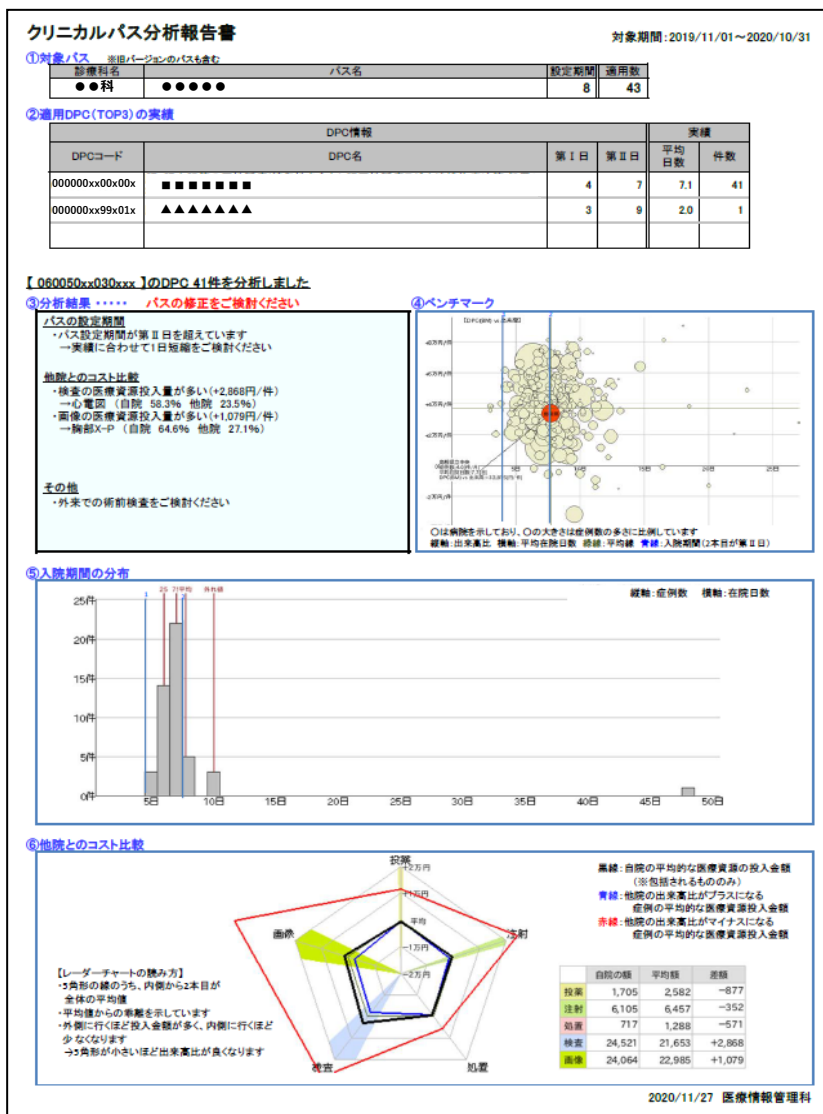
出来高比や包括される医療資源の投入量

● その他

術前検査の外来実施の検討

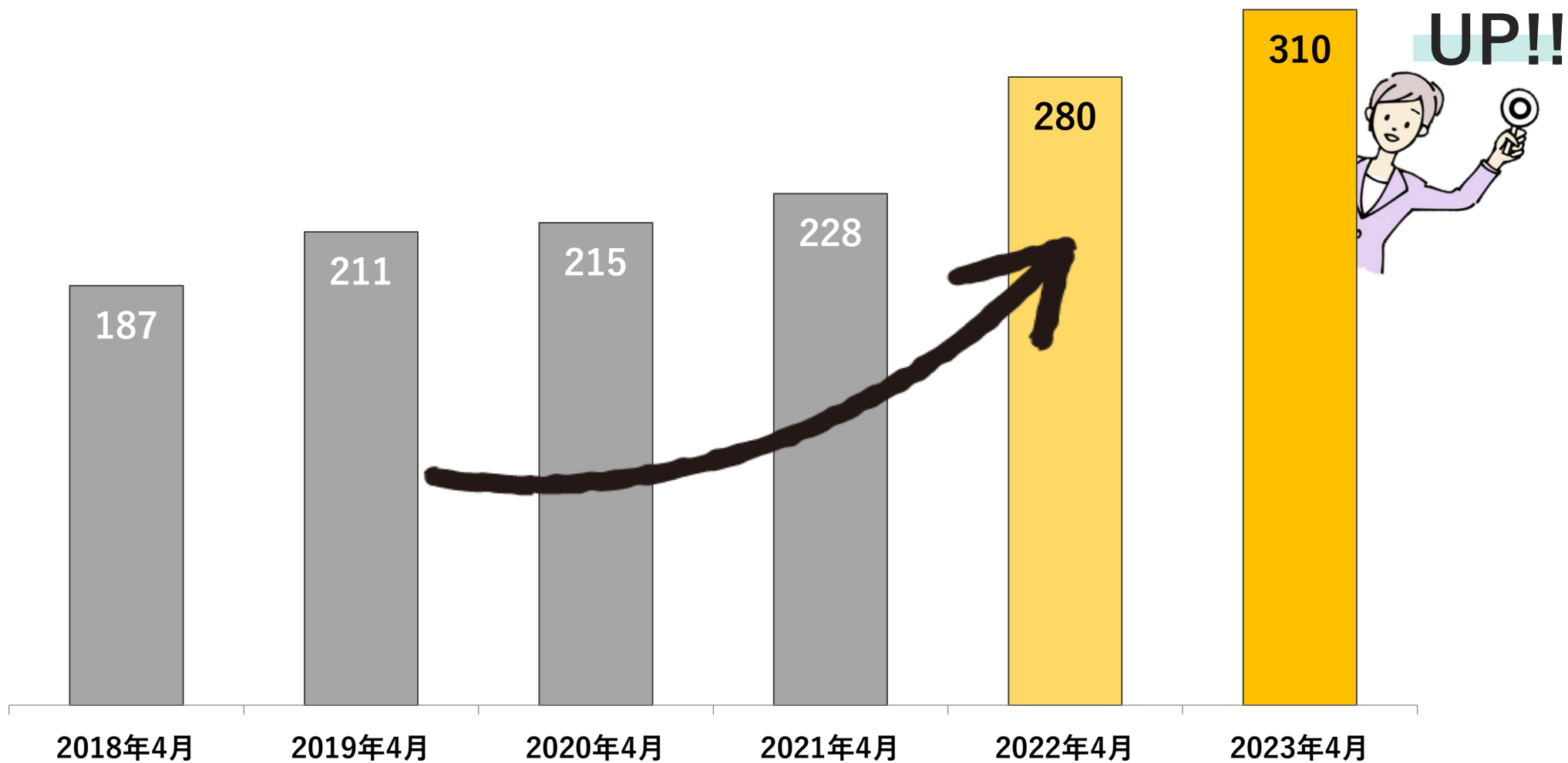
臨床指標の内容

診療科部長、パス委員の医師へ情報提供

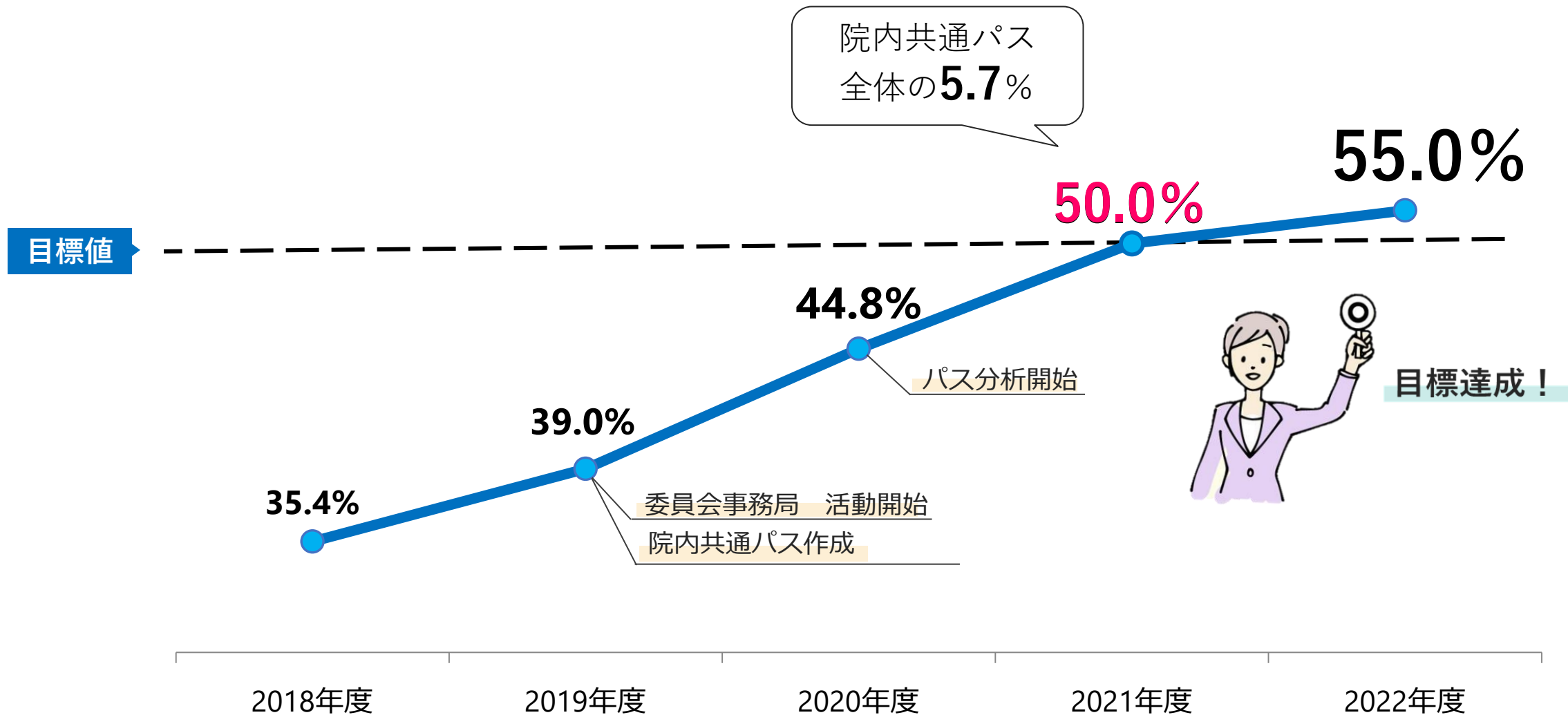


取り組みの効果

パス数



パス適用率



医療の標準化・質の向上

パス分析実績 2020年4月～2023年3月

パス数	分析済み※	分析困難	出来高	実績なし 1件/月未満	未分析
310	109	22	18	149	29

※重複あり、分析後パス削除あり

分析結果件数

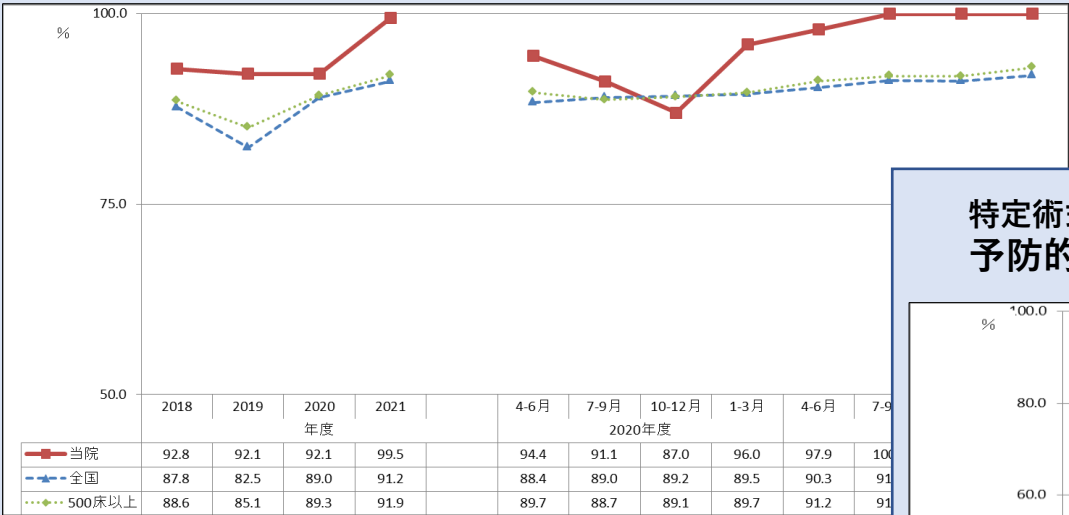
修正検討依頼	45
問題なし	64

医療の標準化・質の向上

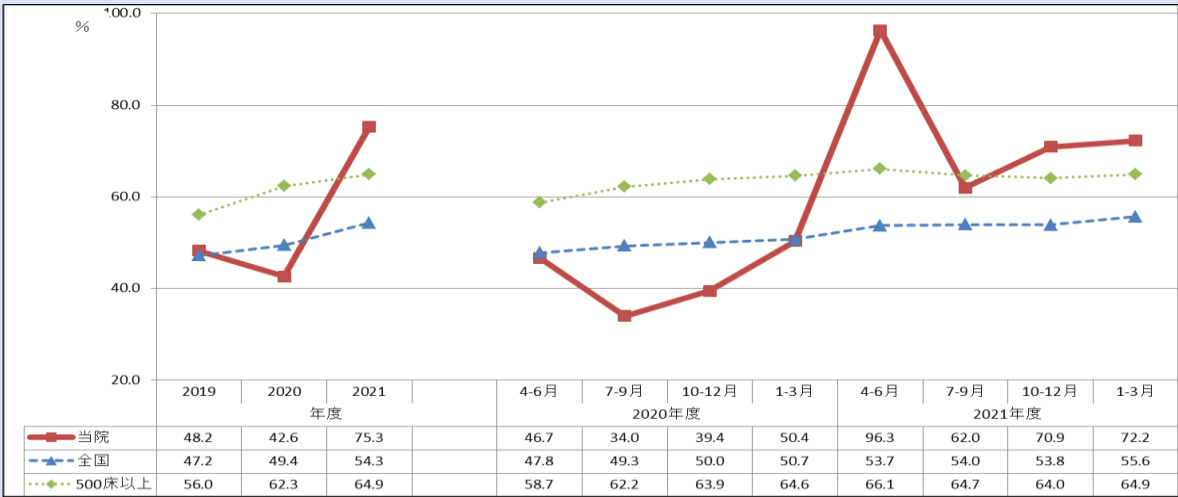


日本病院会 QIプロジェクトの臨床指標が改善

特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率



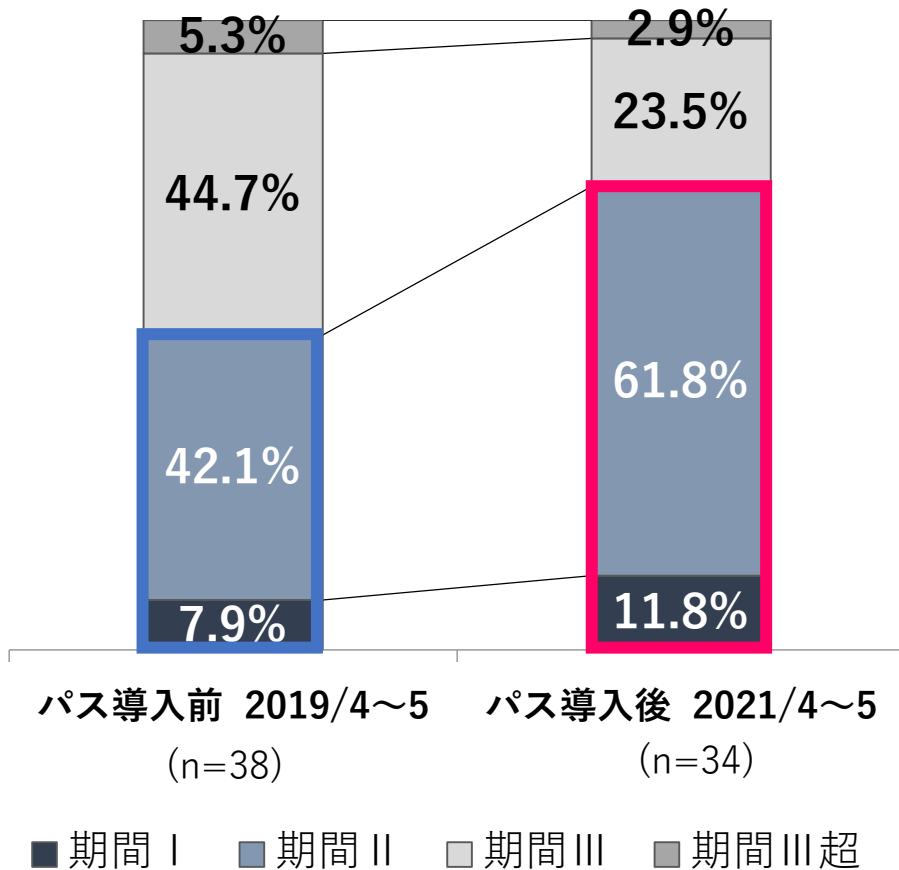
特定術式における術後24時間（心臓手術は48時間）以内の
予防的抗菌薬投与停止率



健全経営への寄与

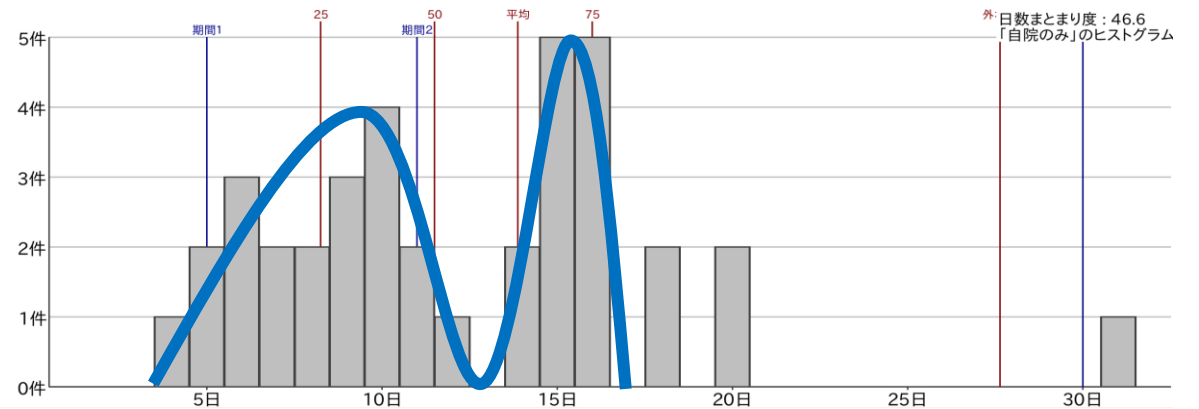
院内共通パス「急性腎盂腎炎」パス導入前後の比較

入院期間別患者数（割合）

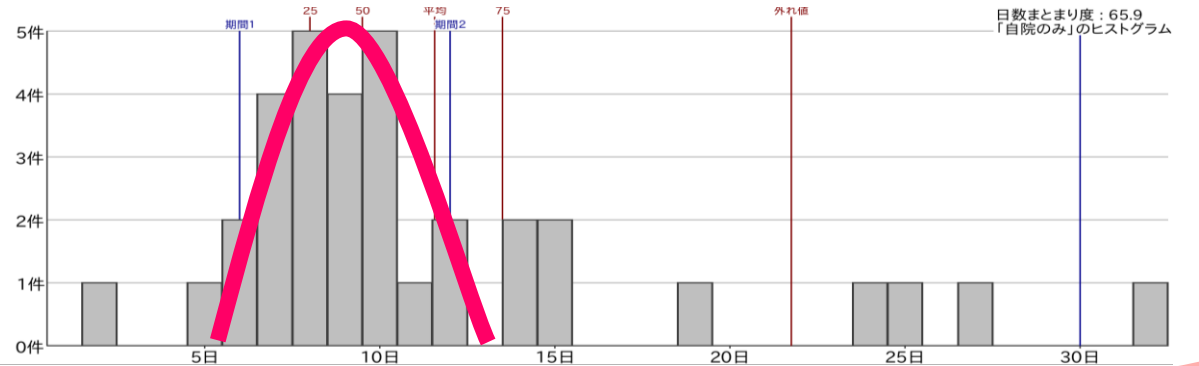


入院期間の分布

パス導入前

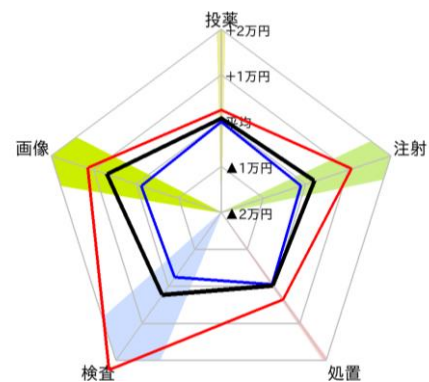


パス導入後



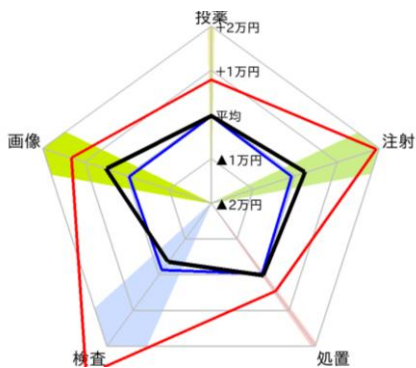
健全経営への寄与

パス導入前（2019/4～5）

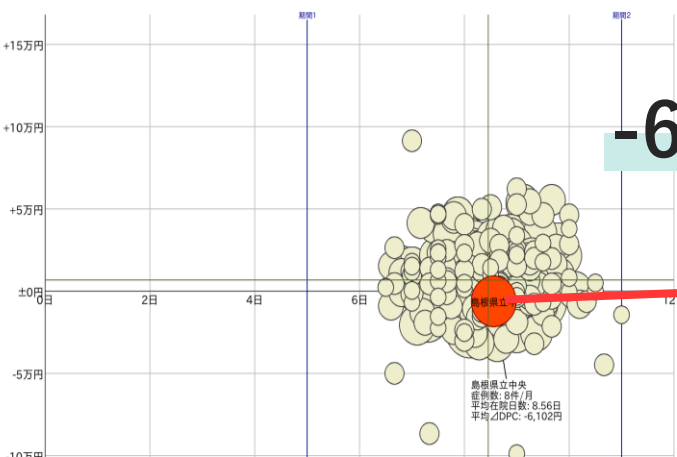


	自院の額	平均額	差額
投薬	3,466	2,991	+475
注射	18,739	16,811	+1,928
処置	1,921	2,136	▲215
検査	36,029	33,702	+2,327
画像	24,209	17,392	+6,817

パス導入後（2021/4～5）

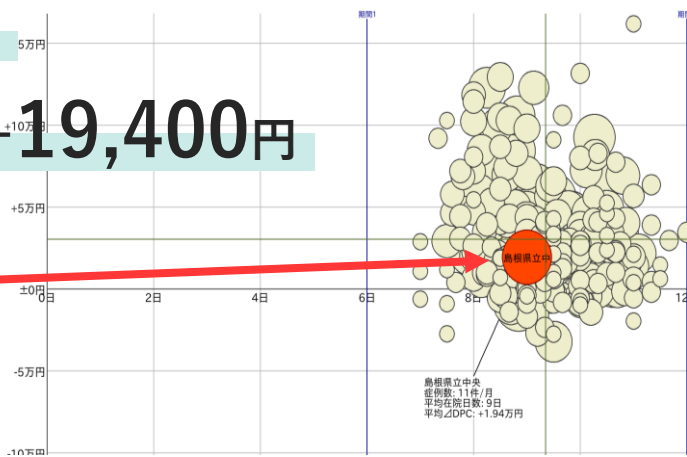


	自院の額	平均額	差額
投薬	2,721	3,047	▲326
注射	20,875	18,550	+2,324
処置	2,630	2,471	+159
検査	32,568	36,132	▲3,564
画像	21,799	16,906	+4,893



出来高比

-6,100円 → +19,400円



まとめ

- サポート体制を整備し、パス委員が積極的に関与することが、適用率向上の鍵
- パス分析を基にパスの内容を修正することで、医療の標準化や健全経営に寄与することが出来た
- 病院全体の課題として取り組むことが重要
- 効果が見えると、パス活動へ拍車がかかり好循環を生む

A photograph of the Shimane Prefectural Central Hospital building. The building is a large, multi-story structure with a modern architectural style, featuring a mix of concrete and glass. The name of the hospital is visible on the upper part of the facade in both Japanese and English. A covered walkway runs along the front of the building. The sky is overcast, and there are some greenery and a road in the foreground.

ご清聴ありがとうございました